



南中だより

No. 11 平成30年11月29日

伊丹市立南中学校長 柳井 泰司

吹奏楽部 秋のコンサート



11月3日(土・祝)午後1時から伊丹市立生涯学習センター(ラストホール)で吹奏楽部 秋のコンサートが開催されました。3年生は、11月4日(日)東りいたみホールで行われる第44回吹奏楽のつどいが最後の演奏となり引退しました。

吹奏楽部は、地域・学校のために、夏祭り、幼稚園・小学校の運動会、文化祭など、たくさんの行事に参加してくれました。3年生の皆さん本当にありがとうございました。

プログラム 第I部 コンサートマーチ 「虹色の未来へ」

Sing Sing Sing

ラピュタ ~キャッスル・イン・ザ・スカイ~

第II部 テキーラ タッタ LOSER ♪3年生だけのラストステージ♪

名探偵コナンメインテーマ



稲野総合文化展



稲野総合文化展が、11月3日(土・祝)午前10時から午後4時まで稲野文化センターにて行われました。地域から、書画、生け花、手芸品、陶芸等町内の方々が日頃趣味として作成された作品や、同好会で研鑽・習得された作品を展示されていました。本校美術部と家政部も文化祭で披露した作品を出品し、地域の皆さまに披露させていただきました。



薬物乱用防止講演会 「絶対ダメ！」

11月19日（月）6校時に全校生を対象に、薬物乱用防止講演会を体育館で行いました。講話を阪神北少年サポートセンター所長 警部補 阪本 拓也 氏にいただきました。講話から、薬物の種類（タバコ、シンナー、覚醒剤、大麻、コカイン、ヘロイン、MDMAなど）を知り、薬物依存の恐さ、タバコを習慣的に吸引し続けると癌の発生率が高くなる。また、覚醒剤、大麻、コカインなどは一度でも吸引すると死ぬことがあり、心やからだに悪影響を与え、薬物を乱用した人が事件や事故を起こし社会的に影響がでていることを教えていただきました。

ビデオ視聴では、少年が先輩のすすめを断りきれずに薬物を乱用してしまい、その後医療少年院に入り、治療が必要なからだになってしまう「ドラッグの悲劇」を観賞しました。

薬物は自分自身と他人の人生をも大きく変えてしまい、一度手をだすとやめられなくなり、薬物には絶対にかかわってはいけないことを改めて認識することができました。



第1回 自分たちで作る「お弁当の日」『華やかおむすび弁当』

11月26日（月）に、第1回自分たちで作る「お弁当の日」を行いました。図書委員会が中心となり広報活動として、兄弟学級でポスターを作成しました。当日は、各クラス各自のお弁当を見せ合い、和やかな「お弁当の日」となりました。

「お弁当の日」の主旨と目的は、伊丹市において学校給食が開始され、生産者の方々や学校給食を作っていただいている中学校給食センターの方々、毎日の食事を用意くださる保護者の皆さまに対して、日々感謝の気持ちを持つことが大切です。そうした中で、学校行事などで保護者の方が用意してくださっている手作り弁当は、第2次成長期の子どもたちにとって、親の愛情を感じ、感謝する気持ちを持ち、生活を精神面で支える重要な役割があります。しかし、現代の子どもたちの置かれている環境を考えるとそれだけでは不足していると思います。

食を通して自らの健康を考え、判断し、実践できる、たくましく“生きる力”を育み、自ら実践していける力を育成する事を目的としています。「お弁当の日」は、子どもが自分で食べる弁当の、献立作り、買い出し、調理、弁当箱詰め、片付けの全てを一人で行う取り組みであり、ねらいは親が手伝わないことで、一人前になりたいという“生きる力”を育てようというものです。「お弁当の日」の体験を通じて、食べることが「命のバトンリレー」であることを学び、自己肯定感を育み、想像力が培い、物事を感謝とともに受けとめられる人への成長が期待されます。このようなことから、食を通して自尊感情を高め、自他を大切にできる人づくりを推進していきたいと考えています。



1年6組



2年1組



3年4組